

事業評価シート

455101 大風まつり補助事業

事業コード 455101 事業名: 大風まつり補助事業

総合計画体系 (上位の政策・施策)	政策 : 地球にやさしい 活力あるまち
	施策 : 観光
	施策の方向 : 地域資源を生かした観光振興

主管部局名	環境経済部	主管課名	商工観光課	会計区分	一般会計		
事業主体	市	補助単独	単独	新規・継続	継続	事業開始	昭和30年代
進捗状況	実施段階	計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 28 年度				
根拠法令	座間市大風まつり補助金交付要綱						
事務区分	自治事務	義務区分	非義務的経費	地域区分	市内全域		

・対象(何、誰を) [座間市大風保存会](#)

・受益者(実際に利益を受ける人)

・市民参加 **B**

A: 地域社会の主体としての市民、受益者としての市民、双方の視点からの参加がある
 B: 地域社会の主体としての市民の参加がある
 C: 受益者としての市民の参加がある
 D: 特に市民参加がない

・手段(市が実際に行う事業の内容)

座間市大風まつり補助金交付要綱に基づき、補助金を交付する。

 **活動指標** (手段から導かれ、事業の進捗状況を図るための指標)

活動指標名	目標値
① 来訪者数(年間)	120,000 人
②	
③	

活動指標の年度別状況

活動指標	① 来訪者数(年間)			②			③		
	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値
23(決算)	88000	73.30	88000	-	-	-	-	-	-
24(予算)	100000	83.30	-	-	-	-	-	-	-
25(計画)	105000	87.50	-	-	-	-	-	-	-
26(計画)	110000	91.70	-	-	-	-	-	-	-
27(計画)	115000	95.80	-	-	-	-	-	-	-
28(計画)	120000	100.00	-	-	-	-	-	-	-

・意図(どういう状態にしたいのか)

200年以上の伝統を誇り、かながわのまつり50選にも名を連ねる大風まつりを開催し、観光客を誘致する。

成果指標

(意図から導かれ、事業の目的達成度を図るための指標)

成果指標名	設定せず
目標値	0
指標式	

成果指標の年度別状況

区分 年度	年度別 目標値	計画目標 値に対する 割合	実績値
23(決算)	-	-	-
24(予算)	-	-	-
25(計画)	-	-	-
26(計画)	-	-	-
27(計画)	-	-	-
28(計画)	-	-	-

・事業実施上の検討課題

会員の増強と伝統の継承を含めた世代交代の解決及び組織体制の強化が課題である。

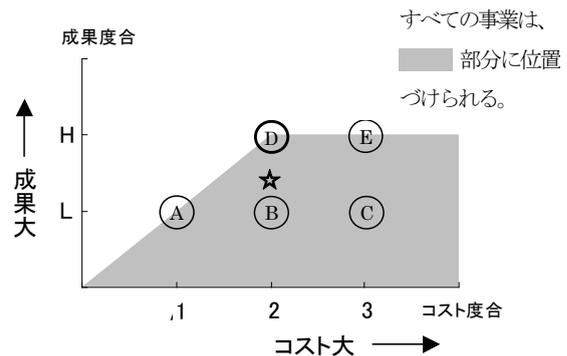
・備考(現状等)

座間市大風まつり補助金交付要綱

・事業のポジショニング **B (コストを維持して成果を向上)**
(位置付け)

・ポジショニングの説明・改善方策

大風製作工程を調査・研究して、確実に掲揚できる凧作りを目指す。
<改善点> 自主財源の確保と経費の削減に努めること。



- Ⓐ: コストを増やして成果を向上
- Ⓑ: コストを維持して成果を向上
- Ⓒ: コストを削減して成果を向上
- Ⓓ: コストを現状維持(理想の状態)
- Ⓔ: コストを削減
- Ⓕ: 事業を統合又は廃止

事業費等の年度別状況

区分 年度	事業費(千円)	所要時間	概算人件費 (千円)	概算総事業費 (千円)	受益者数	受益投資額 (円)
23(決算)	4,000	3250	7,062	11,062		
24(予算)	4,000	3250	7,274	11,274		
25(計画)	4,000	3250	7,257	11,257		
26(計画)	4,000	3250	7,238	11,238		
27(計画)	4,000	3250	7,222	11,222		
28(計画)	4,000	3250	7,222	11,222		

※・概算人件費=所要時間×1時間当たりの平均人件費単価
 ・概算総事業費=事業費(直接事業費)+概算人件費
 ・受益投資額=受益者1人当たりの投資額=概算総事業費÷受益者数

・政策・施策評価の視点からの内部評価

事業評価 **B(8点)** 改善する必要性が低い。

○必要性について **B(7点)** 改善する必要性が低い。

- 視点1 政策の目的が市民や社会のニーズにかな(うものか)っているか
B(8点) 十分ニーズに即(する)している。
- 視点2 当初の事業目的を達していないか
C(5点) 一部対応していない部分もある。
- 視点3 事業目的に対して効果があがっているか
A(9点) 市で実施する必要がある。

○効率性について **B(8点)** 改善する必要性が低い。

- 視点1 予算や人員に見合った効果が得(られる)られているか
B(8点) 十分効果がある。
- 視点2 他市と比べてコストはどうか
B(7点) 十分効率的である。
- 視点3 他の類似事業と比べてコストはどうか
B(8点) 取り組んでおりほとんど改善の余地はない。

○有効性について **A(9点)** 改善する必要性が極めて低い。

- 視点1 政策達成のために有効か
A(9点) 極めて高い。
- 視点2 期待された成果が得られているか
A(9点) 極めて高く得られている。

○公平性について **B(8点)** 改善する必要性が低い。

- 視点1 対象者全体に対して利用者や受益者が少数に限定されていないか
B(8点) 一部限定されているが限定の度合いが小さい。
- 視点2 受益者の費用負担は適当か
B(8点) ほぼ適当である。

○優先性について **A(9点)** 改善する必要性が極めて低い。

- 視点1 他の事業と比較して優先的に実施すべきか
A(9点) 優先度が極めて高い。
- 視点2 延伸、廃止した場合に大きな影響があるか
A(9点) 影響は甚大である。

※各視点の評価点と合計の評価点とは四捨五入の関係で不整合が生じる場合がある。

(内部評価詳細)

一次評価＝所管部局長の評価
二次評価＝行政評価委員会の評価

改善性	↓	A (10～9点)
		B (8～7点)
		C (6～5点)
		D (4～3点)
	↑	E (2～1点)
	高	

事業評価(内部): B (8点) 一次評価: B (8点) 二次評価: B (8点)

必要性	視点	①施策(事業)の目的が現在の市民や社会のニーズにかなっている(た)か ②事業の対象や内容は行政需要の変化に対応している(た)か ③国、県、民間、地域との役割分担からみて市が行う必要があるか ※法令上義務は10			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	B (7点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 視点③ 平均	B・8 C・5 A・9 B・7	本市の観光事業のメイン行事であり、安・近・短のレジャーを求める時代要請の中、一層の内容の充実を図っていく必要がある。	B・8 C・5 A・9 B・7
効率性	視点	①予算や人員に見合った効果が得られている(た)か ②他市と比べてコストはどうか ③コスト(予算・人員)改善に取り組んでいる(た)か			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	B (8点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 視点③ 平均	B・8 B・7 B・8 B・8	大風保存会会員の増員と、伝統の継承を含めた世代交代による人的体制強化を図る必要がある。	B・8 B・7 B・8 B・8
有効性	視点	①事業を実施することでの施策目標への貢献度 ②成果を向上させる余地はあるか			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	A (9点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 平均	A・9 A・9 A・9	毎年多くの見学者が訪れており、またメディアでもPRされ、全国的に「座間」をアピールできている。	A・9 A・9 A・9
公平性	視点	①対象者全体に対して利用者や受益者が少数に限定されていないか ②受益者の費用負担は適当か			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	B (8点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 平均	B・8 B・8 B・8		B・8 B・8 B・8
優先性	視点	①施策内の他の事業と比較して優先的に実施すべきか ②延伸、廃止した場合に市民の生命・身体及び財産に影響があるか			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	A (9点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 平均	A・9 A・9 C・9	本市観光事業のメイン行事であり、保存会の体制充実を求めながら、継続実施していく。	A・9 A・9 A・9
二次評価コメント					
本市観光事業のメイン行事であり、一層の内容の充実を図るとともに、自主財源の確保や経費削減に努める必要がある。					

事業評価シート

455107 ひまわりまつり補助事業

事業コード 455107 事業名: ひまわりまつり補助事業

総合計画体系 (上位の政策・施策)	政策: <i>地球にやさしい 活力あるまち</i>
	施策: <i>観光</i>
	施策の方向: <i>地域資源を生かした観光振興</i>

主管部局名	環境経済部	主管課名	商工観光課	会計区分	一般会計		
事業主体	市	補助単独	単独	新規・継続	継続	事業開始	平成23年度
進捗状況	準備段階	計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 28 年度				
根拠法令							
事務区分	自治事務	義務区分	非義務的経費	地域区分	市内全域		

・対象(何、誰を)

・受益者(実際に利益を受ける人)

・市民参加

A

A: 地域社会の主体としての市民、受益者としての市民、双方の視点からの参加がある
 B: 地域社会の主体としての市民の参加がある
 C: 受益者としての市民の参加がある
 D: 特に市民参加がない

・手段(市が実際に行う事業の内容)

座間市ひまわりまつり補助金交付要綱に基づき、座間市観光協会に補助金を交付する。



活動指標 (手段から導かれ、事業の進捗状況を図るための指標)

活動指標名	目標値
① 来訪者数(年間)	50,000 人
②	
③	

活動指標の年度別状況

活動指標	① 来訪者数(年間)			②			③		
	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値
23(決算)	49000	98.00	49000	-	-	-	-	-	-
24(予算)	50000	100.00	-	-	-	-	-	-	-
25(計画)	50000	100.00	-	-	-	-	-	-	-
26(計画)	50000	100.00	-	-	-	-	-	-	-
27(計画)	50000	100.00	-	-	-	-	-	-	-
28(計画)	50000	100.00	-	-	-	-	-	-	-

・意図(どういう状態にしたいのか)

首都圏有数の植栽面積を誇る市の花「ひまわり」によるひまわりまつりを開催し、観光客を誘致する。

成果指標

(意図から導かれ、事業の目的達成度を図るための指標)

成果指標名	設定せず
目標値	0
指標式	

成果指標の年度別状況

区分 年度	年度別 目標値	計画目標 値に対する 割合	実績値
23(決算)	-	-	-
24(予算)	-	-	-
25(計画)	-	-	-
26(計画)	-	-	-
27(計画)	-	-	-
28(計画)	-	-	-

・事業実施上の検討課題

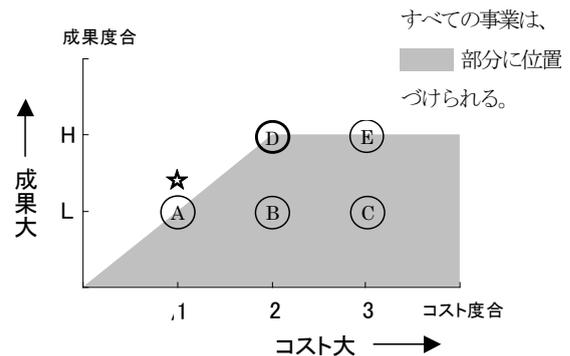
田畑の休耕地荒廃対策としての植栽であったのが、ひまわりが観光名所所になりつつあり、マスコミでも多く取上げられ、年々見物者が増えている。それにより、駐車場対策、仮設トイレ、手洗い、案内板等々のインフラ整備や見物人の誘導、交通整理など快適で安心・安全な見物が、最小限の人手と経費でできるようにすることが課題である。

・備考(現状等)

・事業のポジショニング A (コストを増やして成果を向上) (位置付け)

・ポジショニングの説明・改善方策

首都圏で最大規模の植栽を誇るひまわりをイベント等を通して、関係団体等と協働し地域活性化を図る。
<改善点> 関係団体等と円滑な連携を図り、植栽面積の拡充及び会場周辺整備が必要である。



①: コストを増やして成果を向上 ④: コストを現状維持(理想の状態)
 ②: コストを維持して成果を向上 ⑤: コストを削減
 ③: コストを削減して成果を向上 ⑥: 事業を統合又は廃止

事業費等の年度別状況

区分 年度	事業費(千円)	所要時間	概算人件費 (千円)	概算総事業費 (千円)	受益者数	受益投資額 (円)
23(決算)	3,000	900	1,956	4,956		
24(予算)	3,000	900	2,014	5,014		
25(計画)	3,000	900	2,010	5,010		
26(計画)	3,000	900	2,004	5,004		
27(計画)	3,000	900	2,000	5,000		
28(計画)	3,000	900	2,000	5,000		

※・概算人件費=所要時間×1時間当たりの平均人件費単価
 ・概算総事業費=事業費(直接事業費)+概算人件費
 ・受益投資額=受益者1人当たりの投資額=概算総事業費÷受益者数

・政策・施策評価の視点からの内部評価

事業評価 **B(8点)** 改善する必要性が低い。

○必要性について **B(7点)** 改善する必要性が低い。

視点1 政策の目的が市民や社会のニーズにかな(うものか)っているか

B(8点) 十分ニーズに即(する)している。

視点2 当初の事業目的を達していないか

B(7点) 十分対応している。

視点3 事業目的に対して効果があがっているか

B(7点) 市で実施する必要性が高い。

○効率性について **B(8点)** 改善する必要性が低い。

視点1 予算や人員に見合った効果が得(られる)られているか

B(7点) 十分効果がある。

視点2 他市と比べてコストはどうか

B(8点) 十分効率的である。

視点3 他の類似事業と比べてコストはどうか

B(8点) 取り組んでおりほとんど改善の余地はない。

○有効性について **B(8点)** 改善する必要性が低い。

視点1 政策達成のために有効か

B(8点) 高い。

視点2 期待された成果が得られているか

B(8点) 十分得られている。

○公平性について **B(8点)** 改善する必要性が低い。

視点1 対象者全体に対して利用者や受益者が少数に限定されていないか

B(8点) 一部限定されているが限定の度合いが小さい。

視点2 受益者の費用負担は適当か

B(8点) ほぼ適当である。

○優先性について **B(8点)** 改善する必要性が低い。

視点1 他の事業と比較して優先的に実施すべきか

B(8点) 優先度が高い。

視点2 延伸、廃止した場合に大きな影響があるか

B(8点) 影響は大きい。

※各視点の評価点と合計の評価点とは四捨五入の関係で不整合が生じる場合がある。

(内部評価詳細)

一次評価＝所管部局長の評価
二次評価＝行政評価委員会の評価

改善性 ↓ 高	A (10～ 9点)
	B (8～ 7点)
	C (6～ 5点)
	D (4～ 3点)
	E (2～ 1点)

事業評価(内部): B (8 点) 一次評価: B (8 点) 二次評価: B (8 点)

必要性	視点	①施策(事業)の目的が現在の市民や社会のニーズにかなっている(た)か ②事業の対象や内容は行政需要の変化に対応している(た)か ③国、県、民間、地域との役割分担からみて市が行う必要があるか ※法令上義務は10			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	B (7 点)	視点	評点	コメント	評点
		視点① 視点② 視点③ 平均	B・8 B・7 B・7 B・7	首都圏最大規模の植栽面積を誇る市の花「ひまわり」を観光のオンリーワン事業に高めるために、観光協会と共催し、まつりを通して市のイメージアップと市民の交流の場を広げることで、市内産業の振興と活性化に必要である。	B・8 B・7 B・7 B・7
効率性	視点	①予算や人員に見合った効果が得られている(た)か ②他市と比べてコストはどうか ③コスト(予算・人員)改善に取り組んでいる(た)か			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	B (8 点)	視点	評点	コメント	評点
		視点① 視点② 視点③ 平均	B・7 B・8 B・8 B・8	観光のオンリーワン事業に高めるためには、観光協会との連携が不可欠で、様々な分野の団体等との連携や、協働して支えあえるサポートシステムの確立を図る必要がある。	B・7 B・8 B・8 B・8
有効性	視点	①事業を実施することでの施策目標への貢献度 ②成果を向上させる余地はあるか			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	B (8 点)	視点	評点	コメント	評点
		視点① 視点② 平均	B・8 B・8 B・8	夏の暑さに耐えながら咲いている光景は、来訪者に元気を与える。また、まつりを通じて、産業の活性化を図るためにも有効である。	B・8 B・8 B・8
公平性	視点	①対象者全体に対して利用者や受益者が少数に限定されていないか ②受益者の費用負担は適当か			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	B (8 点)	視点	評点	コメント	評点
		視点① 視点② 平均	B・8 B・8 B・8	来訪者誰もが、すばらしいひまわりを見ることが出来る。	B・8 B・8 B・8
優先性	視点	①施策内の他の事業と比較して優先的に実施すべきか ②延伸、廃止した場合に市民の生命・身体及び財産に影響があるか			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	B (8 点)	視点	評点	コメント	評点
		視点① 視点② 平均	B・8 B・8 C・8	観光のオンリーワン事業として確立するために、観光協会の基盤強化を図りながら実施していく。	B・8 B・8 B・8
二次評価コメント					
首都圏最大規模の植栽面積を誇る市の花「ひまわり」を観光の重点事業に高めるために、ひまわりまつりを通して市のイメージアップと産業の振興と活性化を図ることは必要性・有効性が高い。					

事業評価シート

455201 観光協会補助事業

事業コード 455201 事業名: 観光協会補助事業

総合計画体系 (上位の政策・施策)	政策: <i>地球にやさしい 活力あるまち</i>
	施策: <i>観光</i>
	施策の方向: <i>観光協会等の支援</i>

主管部局名	環境経済部	主管課名	商工観光課	会計区分	一般会計		
事業主体	その他	補助単独	単独	新規・継続	継続	事業開始	平成19年度
進捗状況	実施段階	計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 28 年度				
根拠法令	座間市観光協会補助金交付要綱						
事務区分	自治事務	義務区分	非義務的経費	地域区分	市内全域		

・対象(何、誰を) 座間市観光協会

・受益者(実際に利益を受ける人)

・市民参加 **B**

A: 地域社会の主体としての市民、受益者としての市民、双方の視点からの参加がある
 B: 地域社会の主体としての市民の参加がある
 C: 受益者としての市民の参加がある
 D: 特に市民参加がない

・手段(市が実際に行う事業の内容)

座間市観光協会補助金交付要綱に基づき、座間市観光協会に補助金を交付する。

 **活動指標** (手段から導かれ、事業の進捗状況を図るための指標)

活動指標名	目標値
① 観光客数(年間)	500,000 人
②	
③	

活動指標の年度別状況

活動指標	① 観光客数(年間)			②			③		
	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値	年度別目標値	計画目標値に対する割合	実績値
23(決算)	280000	56.00	280000	-	-	-	-	-	-
24(予算)	320000	64.00	-	-	-	-	-	-	-
25(計画)	360000	72.00	-	-	-	-	-	-	-
26(計画)	360000	72.00	-	-	-	-	-	-	-
27(計画)	400000	80.00	-	-	-	-	-	-	-
28(計画)	440000	88.00	-	-	-	-	-	-	-

・意図(どういう状態にしたいのか)

座間市観光協会の事業運営の安定化及び観光振興の促進を図る。

成果指標

(意図から導かれ、事業の目的達成度を図るための指標)

成果指標名	設定せず
目標値	0
指標式	

成果指標の年度別状況

区分 年度	年度別 目標値	計画目標 値に対する 割合	実績値
23(決算)	-	-	-
24(予算)	-	-	-
25(計画)	-	-	-
26(計画)	-	-	-
27(計画)	-	-	-
28(計画)	-	-	-

・事業実施上の検討課題

自主事業の確立と自主財源の確保、さらには市内の各種イベントや行事への参画が課題である。「特産品認定」関連の事務をH22.4月に商工会から移管したので、更なる事業の拡充が必要である。

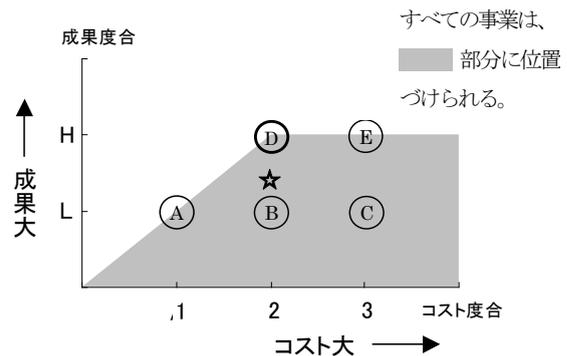
・備考(現状等)

座間市観光協会補助金交付要綱

・事業のポジショニング B (コストを維持して成果を向上) (位置付け)

・ポジショニングの説明・改善方策

協会設立まもないため、商工会や民間等の協力の下に市が事業支援をして本制度の確立を図る。



- ①:コストを増やして成果を向上 ④:コストを現状維持(理想の状態)
 ②:コストを維持して成果を向上 ⑤:コストを削減
 ③:コストを削減して成果を向上 ⑥:事業を統合又は廃止

事業費等の年度別状況

区分 年度	事業費(千円)	所要時間	概算人件費 (千円)	概算総事業費 (千円)	受益者数	受益投資額 (円)
23(決算)	7,120	150	326	7,446		
24(予算)	10,760	150	336	11,096		
25(計画)	10,760	150	335	11,095		
26(計画)	10,760	150	334	11,094		
27(計画)	10,760	150	333	11,093		
28(計画)	10,760	150	333	11,093		

※・概算人件費=所要時間×1時間当たりの平均人件費単価
 ・概算総事業費=事業費(直接事業費)+概算人件費
 ・受益投資額=受益者1人当たりの投資額=概算総事業費÷受益者数

・政策・施策評価の視点からの内部評価

事業評価 **A(9点)** 改善する必要性が極めて低い。

○必要性について **A(9点)** 改善する必要性が極めて低い。

視点1 政策の目的が市民や社会のニーズにかな(うものか)っているか

A(9点) 極めてニーズに即(する)している。

視点2 当初の事業目的を達していないか

A(9点) 極めて対応している。

視点3 事業目的に対して効果があがっているか

A(9点) 市で実施する必要がある。

○効率性について **B(8点)** 改善する必要性が低い。

視点1 予算や人員に見合った効果が得(られる)られているか

B(7点) 十分効果がある。

視点2 他市と比べてコストはどうか

A(9点) 極めて効率的である。

視点3 他の類似事業と比べてコストはどうか

A(9点) 十分取り組んでおり改善の余地はまったくない。

○有効性について **A(9点)** 改善する必要性が極めて低い。

視点1 政策達成のために有効か

B(8点) 高い。

視点2 期待された成果が得られているか

A(9点) 極めて高く得られている。

○公平性について **A(9点)** 改善する必要性が極めて低い。

視点1 対象者全体に対して利用者や受益者が少数に限定されていないか

A(9点) 限定されていない。

視点2 受益者の費用負担は適当か

A(9点) 適当である。

○優先性について **B(8点)** 改善する必要性が低い。

視点1 他の事業と比較して優先的に実施すべきか

B(8点) 優先度が高い。

視点2 延伸、廃止した場合に大きな影響があるか

B(8点) 影響は大きい。

※各視点の評価点と合計の評価点とは四捨五入の関係で不整合が生じる場合がある。

(内部評価詳細)

一次評価＝所管部局長の評価
二次評価＝行政評価委員会の評価

改善性	↓	A (10～9点)
		B (8～7点)
		C (6～5点)
		D (4～3点)
	↑	E (2～1点)
	高	

事業評価(内部): A (9点) 一次評価: A (9点) 二次評価: A (9点)

必要性	視点	①施策(事業)の目的が現在の市民や社会のニーズにかなっている(た)か ②事業の対象や内容は行政需要の変化に対応している(た)か ③国、県、民間、地域との役割分担からみて市が行う必要があるか ※法令上義務は10			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	A (9点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 視点③ 平均	A・9 A・9 A・9 A・9	各種団体や市が主催している種々の祭りやイベント、特産品の販売促進を観光協会が母体となって実施することで、各種団体等の事務合理化と経費節減、収益向上を図り、市内産業の振興と活性化に必要である。	A・9 A・9 A・9 A・9
効率性	視点	①予算や人員に見合った効果が得られている(た)か ②他市と比べてコストはどうか ③コスト(予算・人員)改善に取り組んでいる(た)か			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	B (8点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 視点③ 平均	B・7 A・9 A・9 B・8	設立間もないため、商工会や民間団体等の積極的な協力体制が強く求められ、そのために市が事業支援を考える必要があるが、協会としても一層会員の拡大や自主財源の確保に取り組む必要がある。	B・7 A・9 A・9 B・8
有効性	視点	①事業を実施することでの施策目標への貢献度 ②成果を向上させる余地はあるか			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	A (9点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 平均	B・8 A・9 A・9	必要性に同じ。	B・8 A・9 A・9
公平性	視点	①対象者全体に対して利用者や受益者が少数に限定されていないか ②受益者の費用負担は適当か			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	A (9点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 平均	A・9 A・9 A・9		A・9 A・9 A・9
優先性	視点	①施策内の他の事業と比較して優先的に実施すべきか ②延伸、廃止した場合に市民の生命・身体及び財産に影響があるか			
	内部評価	区分	一次評価		二次評価
	B (8点)	視点	視点	コメント	視点
		視点① 視点② 平均	B・8 B・8 C・8	必要性に同じ。	B・8 B・8 B・8
二次評価コメント					
座間市の観光行事に対して横断的に対応できる組織は必要であり、平成19年度に観光協会が設立されたことは、市内産業の振興と活性化に大きく寄与するものであり、今後は自主財源の確保が望まれる。					